

オーバルネクストETF情報

2012年9月18日号



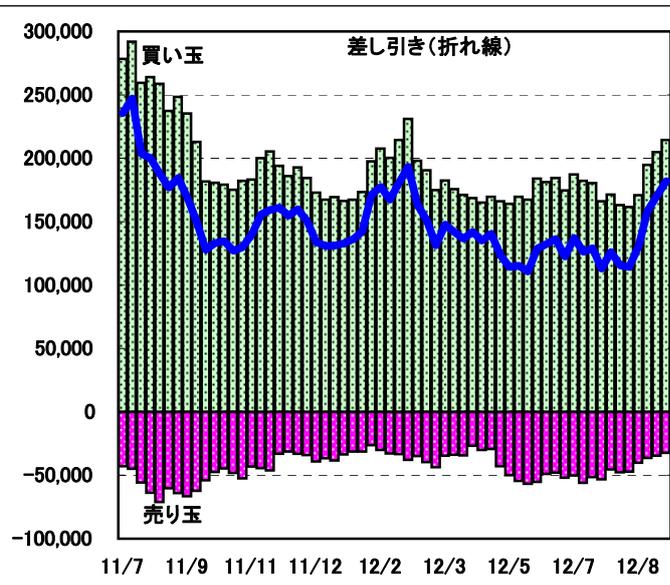
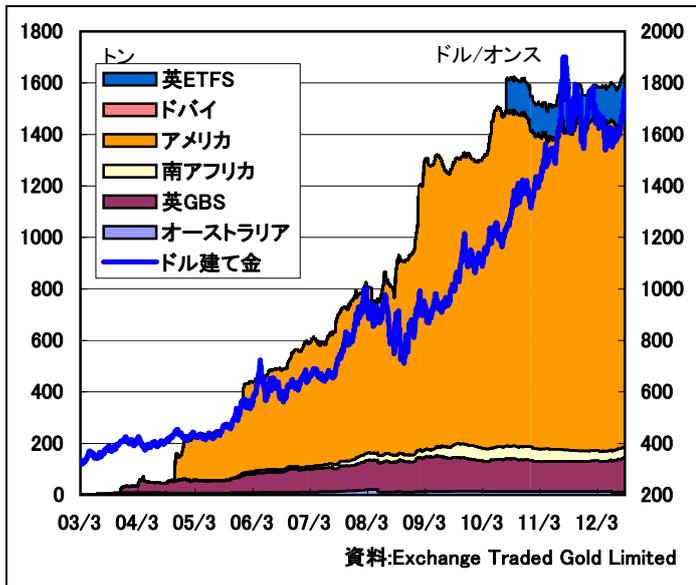
TEL 03(5641)5777

(株) オーバルネクスト
〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町 7-2

弊社ホームページで本レポートを無料公開中
<http://www.ovalnext.co.jp/>

 **Oval Next Corp.**

ETF残高は増加、先物買いは拡大



■金は米追加緩和決定などが支援

米商品先物取引委員会(CFTC)の建玉明細報告によると、9月11日時点のニューヨーク金の大口投機家の買い越しは18万2,016枚となり、前週の17万0,464枚から拡大した。今回は新規買いが9,458枚、買い戻しが2,094枚入り、買い越しを1万1,552枚拡大した。欧米の追加措置に対する期待感などが支援要因となった。一方、17日のニューヨークの金ETF(上場投信)の現物保有高は7日比8.34トン増の1301.48トンとなった。米連邦公開市場委員会(FOMC)を控え、12日に3.72トン減少したが、量的緩和第3弾(QE3)が決定されたことを受けて13~14日に12.06トン増加した。

ドル建て現物相場は2011年9月5日、史上最高値1920.25ドルを付けた。米国の追加金融緩和に対する期待感などが支援要因になった。その後は米連邦公開市場委員会(FOMC)に対する失望感や、欧州の債務問題などを背景に株価が急落し、7月8日以来の安値1540.68ドルを付けた。1600ドル割れの水準では、アジア勢の安値拾いの買いが下支え要因になり、リスク選好の動きが戻ると、1800ドル前後まで上昇した。年末にかけては再びリスク回避の動きが圧迫要因になり、7月6日以来の安値1522.90ドルを付けた。年明けは欧州に対する懸念が一服したことや、米FOMC声明で、超低金利政策の長期化見通しが示されると、1800ドル付近まで上昇した。ただ2月末には量的緩和第3弾(QE3)に対する期待感が後退したことをきっかけに急落した。5月に入ると、ギリシャの組閣失敗などで先行き懸念が強まって急落し、2011年12月29日以来の安値1527.15ドルを付けた。

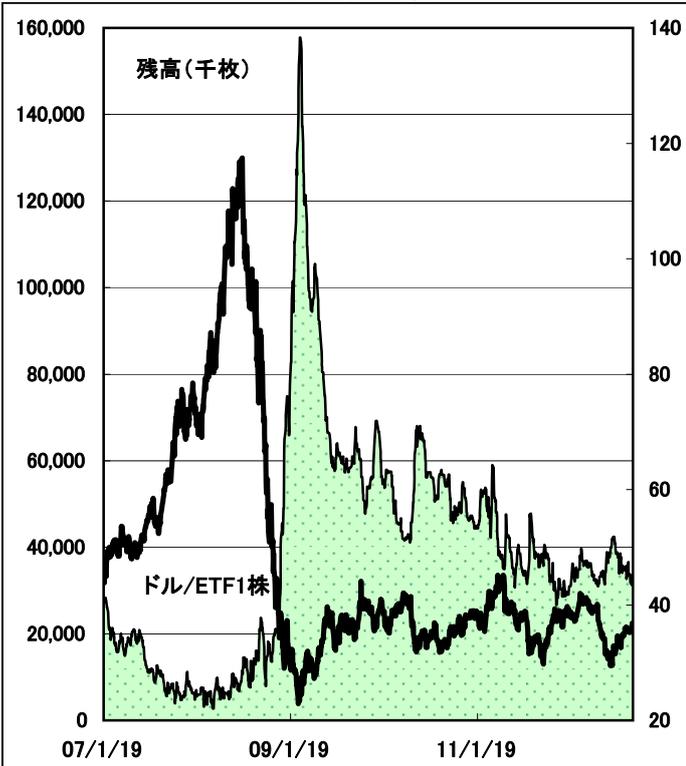
前週は、ドイツの憲法裁判所が欧州安定メカニズム(ESM)や新財政協定の批准を承認したことや、米FOMCでQE3が決定されたことを受け、各市場でリスク選好の動きが広がり、2月29日以来の高値1777.35ドルを付けた。今週は日銀金融政策決定会合もあり、日本の動向も注目される。

<免責事項>

オーバーネクストは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終決定はご自身の判断で行いますようお願いいたします。また掲載している情報の正確性については万全を期してはおりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、当社は利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、当社が提供するすべての情報について、当社の許可なく転用・販売することを固く禁じます。

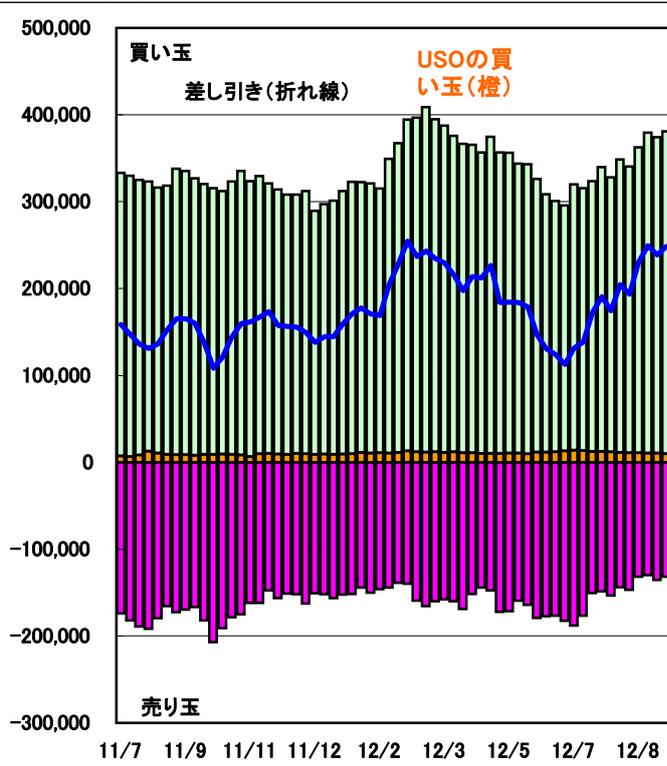
ETF残高増加、先物買いは拡大

●原油ETF(USO)の価格と残高



●大口投機家とUSOの取組

単位:枚



■最近の動向と材料

ニューヨーク証券取引所(NYSE)で取引されている原油ETF(コード:USO)の残高は9月17日時点で3,340万株となり、7日比150万株増加した。ニューヨーク原油は、ドル安や米追加緩和決定を受けて堅調となり、5月4日以来の高値100.42ドルを付けた。USOが先物市場につないでいる原油の買い玉は17日時点でニューヨーク・マーカンタイル取引所(NYMEX)で1万0,386枚(同524枚増)、インターコンチネンタル取引所(ICE)で2,000枚(同変わらず)となった。

米商品先物取引委員会(CFTC)建玉明細報告によると、9月11日時点のニューヨーク・マーカンタイル取引所(NYMEX)の原油の大口投機家の買い玉は38万0,849枚(前週37万4,147枚)、売り玉は13万2,184枚(同13万5,555枚)で24万8,665枚買い越しとなり、前週の23万8,592枚買い越しから1万0,073枚買い越し幅を拡大した。USOの買い玉は大口投機家の2.6%(同2.8%)を占めている。インターコンチネンタル取引所(ICE)のWTI原油の大口投機家の取組は、買い玉が5万6,422枚(同3万9,468枚)、売り玉は5万4,060枚(同5万0,654枚)で2,362枚買い越し(同1万1,186枚売り越し)に転じた。USOの買い玉は大口投機家の3.5%(同5.1%)を占めている。

【原油ETF残高と先物ポジション】

	United States Oil Fund, LP			先物ポジション			
	終値	出来高	残高	NYMEX	Financial Future	ICE	限月
12/9/10	35.85	4,298,801	31,600	4,880		1,000	12/10
12/9/11	36.11	5,879,058	31,600	4,860		1,000	12/11
				7,290		500	12/11
12/9/12	36.04	5,777,640	31,600	9,719		2,000	12/11
12/9/13	36.51	9,560,832	31,200	9,571		2,000	12/11
12/9/14	36.84	7,356,755	33,400	10,386		2,000	12/11
12/9/17	35.75	24,872,006	33,400	10,386		2,000	12/11

単位:残高は千株

資料:NYSE、USO

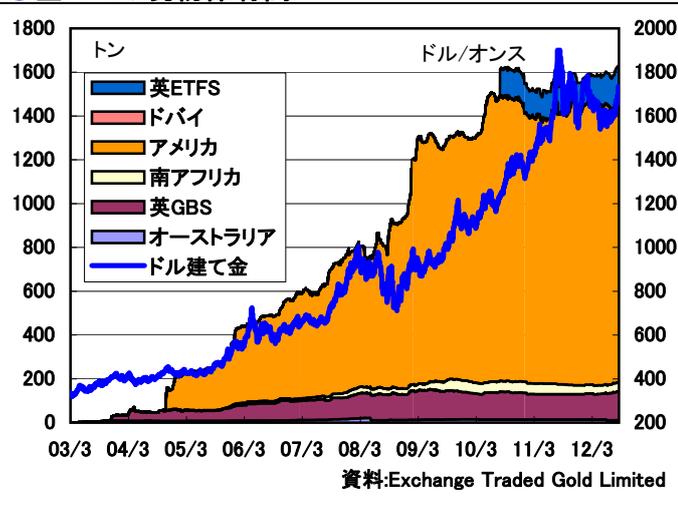
(オーバルネクスト 東海林勇行/9月18日記)

<免責事項>

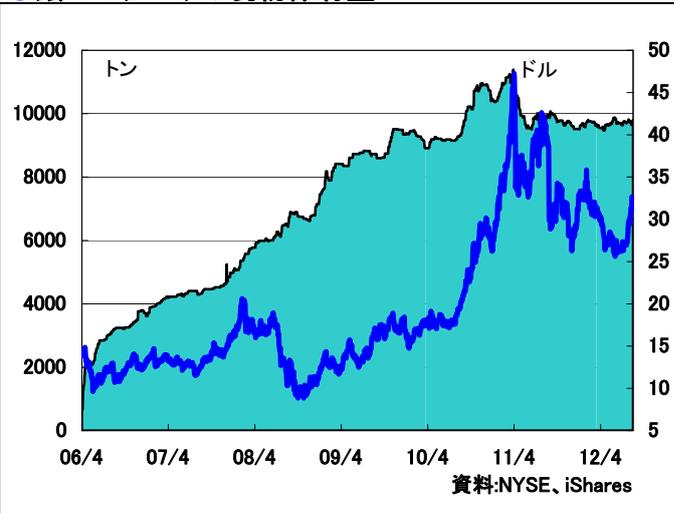
オーバルネクストは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終決定はご自身の判断で行いますようお願いいたします。また掲載している情報の正確性については万全を期してはおりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、当社は利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、当社が提供するすべての情報について、当社の許可なく転用・販売することを固く禁じます。

金ETFの現物保有高は減少

●金ETFの現物保有高



●銀ETF(SLV)の現物保有量



■最近の動向と材料

世界12カ国に上場している金ETF(上場投資信託)の現物保有高は、9月12日時点で1627.89トンとなり、前週末比1.35トン減少した。欧米の追加措置に対する期待感などを背景に11日に過去最高となる1630.43トンまで増加したが、米国で利食い売りが出て3.72トン減少した。英GBSは0.71トン、英ETFSは0.47トン、南アは1.19トン増加した。

ニューヨーク証券取引所(NYSE)の銀ETF(コード:SLV)の現物保有量は前週末比69.32トン増の9803.55トンとなった。ETFセキュリティーズの銀ETFの現物保有量はロンドン(コード:PHAG)は同9.25トン増の895.68トン、ニューヨーク(コード:SIVR)は同6.16トン増の560.81トンとなった。

【金ETF現物保有量詳細】

	豪州	英GBS	英ETFS	南ア	米国	ドバイ	合計	金現物相場
12/09/06	11.16	132.22	149.89	41.26	1293.14	0.00	1627.67	1,700.80
12/09/07	11.16	133.48	150.20	41.26	1293.14	0.00	1629.24	1,735.30
12/09/10	11.16	133.48	150.20	41.73	1293.14	0.00	1629.71	1,726.52
12/09/11	11.16	133.48	150.20	42.45	1293.14	0.00	1630.43	1,733.25
12/09/12	11.16	134.19	150.67	42.45	1289.42	0.00	1627.89	1,731.65

単位:トン、現物相場はドル/オンス

注:他の金ETFはIshare TRUST GOLD(12日現物保有は191.83トン)、米ETFセキュリティーズ(12日34.44トン)、チューリッヒ・カントナル・バンク(10日230.66トン)など。

資料:Exchange Traded Gold Limited

【銀ETF(NYSE:コードSLV)】

	銀ETF価格	出来高	現物保有量
12/09/06	31.67	15,932,729	9,734.2
12/09/07	32.64	16,862,432	9,734.2
12/09/10	32.29	12,708,233	9,734.2
12/09/11	32.41	8,065,548	9,803.6
12/09/12	32.21	22,325,847	9,803.6

単位:価格はドル/ETF、現物保有量はトン

資料:NYSE, iShares

注:他の銀ETFはETFセキュリティーズ(ロンドン 12日895.68トン、NY 12日560.81トン)、チューリッヒ・カントナル・バンク(10日2,765.19トン)。

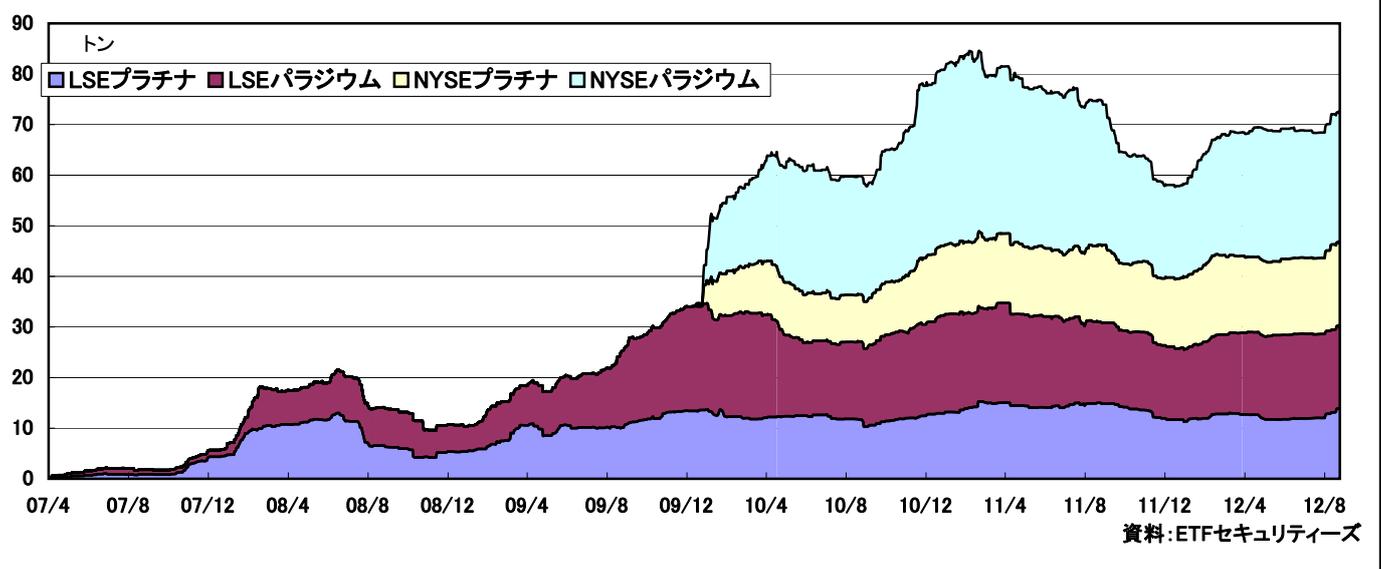
(オーバルネクスト 東海林勇行/9月13日記)

<免責事項>

オーバルネクストは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終決定はご自身の判断で行いますようお願いいたします。また掲載している情報の正確性については万全を期してはおりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、当社は利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、当社が提供するすべての情報について、当社の許可なく転用・販売することを固く禁じます。

プラチナETFの残高が増加

●PGMのETF現物保有高



■最近の動向と材料

ロンドン証券取引所(LSE)に上場しているプラチナ・パラジウムのETFの現物保有量(メタルセキュリティーズ分)は12日時点でプラチナが13.90トン、パラジウムが16.17トンとなり、前週末比でプラチナが0.09トン増加、パラジウムは0.18トン減少した。一方、ニューヨーク証券取引所(NYSE)のプラチナ・パラジウムETFの現物保有高は12日時点でそれぞれ16.99トン、25.71トンとなり、前週末比でプラチナが0.46トン増加、パラジウムは変わらずとなった。

欧米の追加措置に対する期待感や、南アの供給不安などを背景にプラチナETFに投資資金が流入した。一方、パラジウムETFは戻り場面で売られた。

【ETFセキュリティーズ】

	ロンドン証券取引所(LSE)				NY証券取引所(NYSE)	
	プラチナ	パラジウム	銀	金	プラチナ	パラジウム
12/09/06	13.25	16.35	886.78	160.13	16.52	25.71
12/09/07	13.81	16.35	886.42	160.45	16.52	25.71
12/09/10	13.90	16.41	894.15	160.45	16.52	25.71
12/09/11	13.90	16.17	894.15	160.85	16.52	25.71
12/09/12	13.90	16.17	895.68	160.93	16.99	25.71

単位:トン

注:プラチナ・パラジウムETFは他にスイスのチューリッヒ・カントナル・バンクが販売。10日はそれぞれ10.99トン、11.18トン。

資料:ETFセキュリティーズ

(オーバルネクスト 東海林勇行/9月13日記)

<免責事項>

オーバルネクストは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終決定はご自身の判断で行いますようお願いいたします。また掲載している情報の正確性については万全を期してはおりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、当社は利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、当社が提供するすべての情報について、当社の許可なく転用・販売することを固く禁じます。